



No.34 Sep.2009

NABUNKEN NEWS



独立行政法人 国立文化財機構
奈良文化財研究所
〒630-8577 奈良市二条町2丁目9-1
<http://www.nabunken.jp/>

■ ガイダンスコーナーの開設

8月3日、奈良文化財研究所（以下「研究所」という）の研究成果の公開を積極的に推進するため、玄関脇の小さなスペースにガイダンスコーナーを開設しました。これは、平城宮跡資料館がリニューアル工事等により休館中であるため、その代替となる場を設ける必要が生じたことから、急きょ設置することとしたものですが、本来、研究所の運営において必要な場であり、研究所施設内にあるべきものと考えています。

このガイダンスコーナーは、展示面積が少なく必ずしも十分な展示はできませんが、研究所の調査研究の内容を迅速かつ的確に伝えるものであるように企画されており、現状では、①平城宮調査の今、②国際共同研究・文化遺産保存修復、③情報コーナーの3つから構成されています。

「平城宮調査の今」は、平城宮第一次大極殿院内庭部の調査（平城宮第454次）に関するパネル展示そして回廊と東楼で使われた瓦の展示で構成されています。

「国際共同研究・文化遺産保存修復」はカンボジア・アンコール遺跡群の共同研究に関するパネル展示やビデオ上映などで構成されています。

「情報コーナー」では、平城宮跡資料館に設置されていたコンピュータを移設し、「デジタル平城京探索」や研究所のホームページにも簡単にアクセスしていただけるようになっています。

平城宮跡内の各施設においてボランティアのみなさんがガイダンスルームを積極的に広報してくださったおかげで、8月は予想以上に多くの方々に研究所を訪れていただくことができました。特にお盆の頃には親子連れで訪れる方が多く、かつて殺風景と言われた庁舎玄関も大変にぎわっていました。

今後、研究所がさらなる発展を遂げていくためには、ボランティアのみなさん、地域の方々や子どもたちにも、研究所のファンになっていただくことが不可欠です。そのための様々な工夫を、これからも日々実行していきたいと思っています。

ガイダンスコーナー開設にあたり、ご尽力いただいたすべての皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。
(管理部 多 昭彦)



本庁舎ガイダンスコーナー